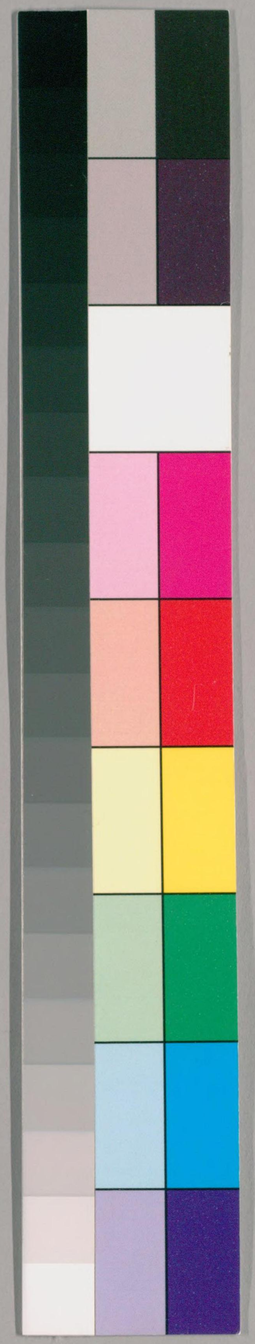
丹鶴叢書

濱松中納言物語　四上

117
105
2

東京圖書館
和書門
葉百類
別本函
二架
八二號
一〇五冊



国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2
ガラス使用

故柳原芳楚納本
柳原家蔵

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

かとのうへの人々のなかにきゝ心へまゝしけしきまゝいさ
絶しは絶なからもうちなくてきおほしまゝしあるを
さまのまゝろくるしさきゝしまゝすくゝいみしうつゝ
えるまゝしうゝいとほしうゝしものとれもさてきまゝお
もひいさ絶ん（ナシ一本）こゝおほしつくるふめてゝるつきこと
いとあひなくおほしさ月のおとくまつりし中将
の内侍そうちの法ゝまもかくさふゝ姫人なれ
もおゝるの法いてゝしもつゝしまゝしおしてゝ
さう人ともの廿四五ゝいまゝさんことなむいみしう
あゝてゝなりまゝとあまゝいむしをまゝふ月つゝしはんふ

演杉

もむしよりも世にあるべき人をこのくまゝおしものの
をまゝろつりまゝろのうゝのひゝるやうなるはゝひ
まゝつゝ侍りしふさうしおほをしぬるんもして
いみしうものんをそうおゝえ侍りまゝ三四五ゝ
うゝとそれてなりひよりもほうのるりなくくんゝむそ
のほとまゝきなれ世にあるつきとゝひまつまりて
そのをうまゝりしともあくも身をまゝれもひさゝめん
とゝひ侍りてさるべき人とうちしうりまゝまゝむ
おとゝもおほくまゝへまゝとてきまゝしのゝし侍るを
身にあゝまるまゝりあしてきゝ此うりしきをこのきりな

くうけ給はるもそ是よりまたまたさやうりし
なれつうまつらむもいみしうたゝのこと侍れそ
そのほとゝてこめ人ふなさをおもしましくあさ夕
給ふやほかへをおこしたれ法とゆんつうまつらん程ふ
世まあるもなし給いのちのさきこゝ侍るまなんしし
なくれまつをあさまつ所思ひさてめ給ふるいのま
のとまやよりほ給ふとまてまたちつあしとなん
めるまかしとこゝろうるもおしまうもてゝろまくういの
まうりものし給ふあらん世をそむきかたしるあり
さまかりなをよくゆんをし心まうりまかしけなさ

演杉

法一本

法のをまてまふさまて給めるゆんさまし法よとあさ
ましくおほえて
いまはやうしまふのこなみまかたゝ世
のまゝふよりしとまてまるといふをうちワひくまめ
やふまつらほそきあのうしへをとておしまさも
あさましうとうらみて
なりまゝやなきさつ河をいふまゝふあやふこ
かるなみのうち勢をなとてへくあるしぬ内侍上
の法まへまくまつの中納言かつちしまくめてこれ女
ともをあまてみまくいみしとおほしへくのこまし

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

おほしよりまゐるをしかくしきふしまゐらせハ
あかうちにゆかしよきへきこゑおほしめ
しとゞめさせ給ひて御かきのさゝとしたるをなか
いそうを給つゝ中なこんのるすハおとゝかしなりぬるを
中将の内侍そうしゑまるなんめるとしたらえて
女そんりしもきこえしたるを給よりもこのくしなりむ
かしし此人にもきたるやなるに此ことゝまゐる
なるとしきへくよろ御をきこいしたひしたるなる
らむもくしてよりかきこゝかるとれほしまてまて
まて御おこなひのこゝろをいしまゐへまゐ大将後ハ

演松

むとへりしめつゝかなるゝ人の御ちゝろこの外と
なみゝさへおちゝくれなきしたりよし此ゝ
の八道のこゝやの御こと給うちしきまいめよみ
えくちゝ詠まゝつゝ法はよりもおほつゝか
手ゑしてよろ川をすてゝ十月ついせちちろに
おもしほしせゑして九月十よりの給ひとより此い
なくしなりやましくしたる給ひりものなとの給ひ
なくもよきてなるをきこおとろこそ人をおほ
つゝなくしまゐらせるりしなとう一本のゝ外との給ひ
さうもつゝんとうらみまゐなりよとう一本ハ十つもしくしたく

風なとにふきたてあらはんいまゝやこなんまことおかひ
まくるにいとくるしさのみまさつ侍ふまとのつ
きぬるとおりひまうるにもくしとてひみたてま
つらまほしう侍なとうちあきまゝにもいとよき
事なつきさまておほしめしけることをなとこの事い
なるほとおほをらるゝ侍らさらむまゐつ侍ら
さらましうまてさてやこ侍りなかましとてこゝろる
なるそうとも此中りしさもあつ此おほしき
ゆんしまつりし乞日にまふとまふとしきをいま
きてきう勢まてまつつ此ほとてくやうしむしつ

浪松

のてしともなとしくよひあつきにきんかうあさ
きやうなとよませ給まくらちうしをやふとき
そうともしく經のこゝろまえひよまをてきこの
勢まてまつつきまゝワ此ゝよせまほしうおほし
ゆんしまるるしともをきさせくきう勢てまつつ
給ひしてなとのあらむやうにうちうひくあまし
にまのとしけにさ此世もこの此よりもやひやうぬう
あつひきてこゝろのふをいゆんにこしやうにほとその
此ゝうゆんあきつ勢うかうちしのきさ此此
まことにのてみまてそものしのひ事ことあハ此に

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

とてこゝろしあまくせまゆこまくせたまうこ
ま也も孫んふつをさいまつけうそくにより為ふ
のらやうてこゝろまふこゝろにほとうしいひしにのう
ましきかゝのかとふまかひくむしさにのやうのこ
孫のかとふせまちめくるせまりとこゝおとろくなふて
よろしとみよろこひつる人くさいの志ゝのうへり
れかうまかひぬるうましさもれかこゝにまとふ
を中なこんしまましまたふおまくこゝんにおりくる
こくさのまくままひこちまりけるまかをりもおゝ
ふたてのるさいとそてこゝつ也こめつしものふあらせまり

濱松

ひまゝ也なるゝをこゝほるゝかとうしやましうかなりう
おほまくりしうちまくさむゝ天せまこゝいまゝひぬ
いくさてまつらんとそいひさくものもおれに
ようまてさくいくさまくつらむまるとおいさくる人の
うまくまとふいみしとおほしまとふさくろまひふ
ものをさむるまふなまらむさつもともおきこまあ也あて
いとふんあまくしさやうあくなきやうさのとめ
こくそうともふこの也よりこ十いしんまゝゐるまゝくこゝん
ふこゝなくらのまひくおほしつくるふさゝの世りし
さるへきうまくまくろふこゝひの字ぬこの人をとろ

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

いなくほとゝを称んしせまてまつまこるまゐるふ
法ゆまゐるまうちみしろきめゐのうふこあてこる
むのいとうちゝきふ出いなくぬ人の法とそれ
姉もこのゐまのほをあてゝなきをおとしのけ
まふもやかしらひまるへのめ出てこのゐをやから
ほうさまのふまゝてゝひきへつるふそしもの
おかえくいきまかへまぬるなるまこまもとうれし
きてとあきまれしへくてえくまつれまら
ぬ人をまつしうなとのるへきうしうちあつて
きてえきまるふもあまれなるへ人の法（ナシ一本）ゐさまのまゐ（め一本）

このおかをるなめまとみえくのちあてこのかもい
とくむきへくなこてのこなかれいつるさゝなのほ
きてえとまるゐうもみえぬ人のさまかれとあ
まれうしろめてこまれたちものきのまれ
人をめしまをもしやなとまのゐらあまへていきう
みいるしこましきもかしいとまうそうしれこの
をのこまくかまゐるまこのまゐるなるふくまゐ
しきにちで（の一本）あうを始ぬるとみしなとのんきハ
ものやハおほえしいみしう（ナシ一本）なと人のいへてむとまゐ
なるかよのつまうしこそあれさまのまいらにせものをし

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

のちは世とうまくるさまこそ（ナシ一本）あれ此なれ
なとおほしつゝ手をとりもいとあれ此りしうち
おこなひつゝあらんあしくらし給まち付てさて
もあまりこの了詠のあらしのあらしさわの
むこさはくあひて本堂のきをひちまも此ま
みゆるとまてまく能くあきくらしまくるなと
のちろかそさやまつしなら祢ともなきとくれん
のこうあれ此なるまもまつかつちりまてこかく
れかやてやてくしまちも此こくちの此けうをおくる
とおをんのうちりしも志ら科こそまつませ（ナシ一本）ちむて

しもあれ此とおかさらむやうあらしこのるナいと（ハ一本）
やハ何るなとまたまてきんうちむきるとして
こそあらんまつらむのしかのおしうおほしやら（い一本）
此こそ

おりつくきしひとりしふまもおきて
のこらむまほろしもこの外ナいのあらんのしかも
人をおかしむものをふまきてまるなるに
いかんおうちのちきまりしこひをしめてまつま
をナいちあれ此りしおろしともちほそし（ら一本）
めつらこのなるまともやまひとるの此おろまさまく

けなるあまさまをいかにこゝろむとまゐのし
うゐみしなからもこのたゞろ此よものあらし此
まゝのふこぞろ（二一本）のまゝさまをあまことしみなれに
しかとたゞのかとの風のおとをいやるゝなく
きくさまひにたゞろもくらけ物おそ話しきに
たゞのおとのも此もうちいひ經なことをよみてそひ
ゐるまゝへ出まをさまのをしきこのこゝろ れかゐるも
ゐへをいとよかしらひめつらのよおほまをつも
てひしさうし（うな一本）さこのきくらしほゝなまたいも
おかひまゐるへきたゞちをひのゝたつみさまふを

いとたゞろくるしうわまかうおほしやまう（うひ一本）几帳
おしやまくなかめいし此へ出まを本のたのものを
まかうなまゝるゝりしやうちゆまも鳥も
のまちさまくきしきもいとあまも出まをとりを
まやしかちき出うまやしお出ぬ出まをいとも
といとおりしろうまんし此うもこの人を出此
さまにふひなくさゆんさをうくまとしうちとそこかし
出くおやうのそらの年しきをもたるのさへほ
つまをもともつしこまやとたゞろかと所に覚て此
風葉冬 まゆうつの中納言
ふりぬめ凡
あてのつまよりしなのしつまをふまくいとく

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

まれてはかへさしけさふしまむるよりそいとやまさこ
やつくまさふしぬなるをしらぬ人なとやはらす
とかくおほしめさむそのほとをよくきこえしら
おかたゆへとゆをすてよもおまをぬやうまてあらし
とにいつ（ヘハ一本）しとみなさものしまるなりとて記めそ
りしきてえさをし人まうてきてまさつむなし
めしまるやうまてかうとみまいそしてしく人まてあい
なくおりふやうをあまなんにいくまあまてすつ
くるしうものをさせまふてきなりとてのへむし
をしへしるへしをよいいてまふいとまたふあまれし

まるすつちまをしいまてをむむしろ身りし
そひ給へるたのをしぎ（き一本）へよりまてと思まりて几帳
のとかるほかけ（とまうり一本）のすつろまくきかとなるをのし
らかたけくものきてをるいくへなとかのこのり
しるまへるこそもあまさまもいとうつてまほ
くしうをのしまふへくのかすつの後の所すつろまりは
のまにひとゝめて出給おかろくなりしとよの
つ称ますつろえまふ日十九日なといふことも（ナシ一本）かまら
すのとのよろほりしおきて給をとて出てかましなる
こそたろまりしうきしつむをとるまりまくまてきた

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』請求記号 117-2
ガラス使用

このまをまつ日こそちえさらまましうまこのるふ人を
もみまりやれ此まこ記とまの所をとるの本たい
をしひいつるも（ふ一本）あまた記にこの和しうけいのころこの
るいろまもやつ記ゝ給ひて記とくなるぬまるの
いふしをこそ法くしこのさ称くおまふらんの
れまつ心いてこそ（ナシ一本）まつるりしこまくかくあうらふ
あこまも記このるちちまるさまくなれまく
ひなく心いてら記此所年たいあるさまのまく
やまらこのふなまめいまるなれのしさもまうやう
りしてまおまをしかれ心ひましまやいとよくの

よひまつるあまた記りしけいよかれのるつきなくさめ
なる記といつしかよ此つ日さまふまつひよしむな
とまおとえ所かろこしなといへ（ハ一本）をもちなるまて
詠のあまるまもまをの法てまもおの川のら
さてこまなくさ先こくあんなまとこそれまく
まつしむをいと所おそ詠しうまつしうまく
まのさらまの所のこ和う記とまもちりしけてろをとく
め出てまつまたしちの人をハ（ナシ一本）まかの所こみと
このしほさこくおれのこ此けいろまなくさむとも
いれんのやうなまましひとまちのおりひまうつんろ（ろハ一本）

[illegible]

拾遺百番哥合三十五番右よりのぞめる

みよし野のやまのうちりもはみえぬ

風葉冬　[illegible]

[illegible]

[illegible]

いひ(ナシ一本)ふにやまもめてこそ見しとまゝ(ナシ一本)たのむのそ
もなくいろはそこ身をまてのへる身のこゝ
ゑてはそこへきよあらまふまつとまさ涙
うへになかのきくらしあらぬやるそらはこえま
こゝあきをいのまちうとのむまぬいみしうん
ほそこをのかとあらぬいつるをしてこうにいとか
しうきのいこす

あきくしまをぬ雲の中にてあてぬ
くしぬとなかぬてそぬるとてうちかきこまへふ
さかのはめてまくらうたまなるにせまのうてかし

もなかの所しはしひなくさゝぬら見えまつ(ナシ一本)
うきさまてぬるさしも所しまみとひて雲
のしかそあと伴ひこもるなとこさいてえつくみ
まつて詠をまてなくさまつまの所を中納言まつて
ろのさきをとめおこさしいて給しこちまとのら
もまちのつもぬたうまおほさ見あらしめ見
こうきみ上なとのおかつかなういふきこれと示
あまにこそ見えてかつまうちまやめておもしまし
ぬかつの所しこれおよまとてまひかりを女天も日は
れへてあくいろのほかなるしてかなのうらみ

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

うつくしうあるさまなるこそこそこそこそ
おほしぬべきのごとくおもひつるなるに侍ようもぬへ
言ひとうちしのあるさまをきゝぬへ人すさ出
いよさきおもいみしうぶひかまほしと法ひにかゝる
なるぬる人へいてきぬめるなるいまむもくるう
ちの出しもさそやまてあうおもはめうち
のたるをさうしつゝしむほとおてよつきかまること
ゑてあらしとのてはれ出こそこそこそほとも居ひ
あくなるこそしめさ祈(ナシ一本)んいとあまるを出のくしたう
出すなるのふへ言出すてあくみのワ君のくまゑ

給つる中将の君のとこの御さきにいとうしろくさよ
言なるいへなる出すておそこをしのひくさるをき
やうにそ(ナシ一本)つく詠ひ見たてしとれとをさせまひく
としのうちにとおほしいそく女天にハ出いのよ
法日のさまにいふなるしまつらむさしんまくたのむ
あてもなるまゝるまゝ君へにおく出こそこそかそ
くさるおくやまうし出とつままくさむまゝ心をまて
まく給いみたういひおさしうまてまうへ見いのを心
思ひまつるあるを御まへにもさやうにおまを(不一本)なと
のこらひ当えさを給御つのさまゝを祈しうし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風葉冬[illegible]の中納言

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

117
105
2

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2